



The service club to the YMCA  
 THE Y'S MEN'S CLUB OF  
**TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ  
 〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23  
 西宮 YMCA 内  
 Tel (0797)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2016年7月会報 第334号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) JOAN WILSON (カナダ)

主 題: “ Our Future Begins Today ”

「私達の未来は、今日から始まる」

アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao

主 題: “ Respect Y's Movement ”

「ワイズ運動を尊重しよう」

西日本区理事(RD) 岩本 悟 (熊本にし)

主 題: 「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を！」

“ Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit ”

副 題: 「定例会の充実と活発な奉仕活動でメンバー倍増！」

Doubling membership through having substantia

Meeting and active

六甲部部長 長井 慎吾(西宮)

主 題: 「楽しい交流とやりがいのある奉仕活動で

更なるクラブ活性化を図ろう」

宝塚クラブ会長 若林 成茂

主 題: 「限らない挑戦で新たな気風を呼び込もう！」

今月のテーマ: キックオフ EMC-C

わたしたちを誘惑に遭わせず、  
 悪い者から救ってください  
 (マタイ6章13節)[主の祈り⑦]

2016年7月例会

日 時: 2016年7月13日(水)18:30  
 場 所: 宝塚ホテル ゴールドの間  
 会 費: 会員 3,100円、会員外 3,500円

ドライバー 谷川 尚 福田宏子  
 開会点鐘 鯖尻 佳子直前会長  
 ワイズソング 全 員  
 聖書朗読 加藤光信  
 祈 禱 多胡葉子  
 ゲスト・ビジター紹介 鯖尻 佳子直前会長

役員交代式  
 会 食  
 総 会

- 1) 新年度活動方針
- 2) 決算報告
- 3) 予算審議

誕生日のお祝い  
 閉会点鐘 若林 成幸会長

2016/17 役 員	会 長 若林成幸 直前会長 鯖尻佳子 副会長 多胡葉子 書 記 武田寿子 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子																																
事 業 委員長	Y M C Aサービス・ユース 多胡葉子 地域奉仕・環境 福田宏子 EMC 杉谷和代 交 流 石田由美子 ファンド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘																																
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 多胡葉子 市民クリスマス若林成幸																																
お誕生日 おめでとう!	杉谷 和代(7月13日)																																
6 月 実 績	<table border="0"> <tr> <td>例会出席者数</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>在籍会員数</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>出席会員数</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>出席率</td> <td>66.6%</td> </tr> <tr> <td>メイクアップ(内数)</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>メネット</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>コメント0名、ゲスト・ビジター0名</td> <td></td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td>B F ポイント</td> <td>6月</td> <td>4,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>累 計</td> <td>44,826円</td> </tr> <tr> <td>にこにこBOX</td> <td>6月</td> <td>2,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>累 計</td> <td>51,800円</td> </tr> <tr> <td>ファンド(物品販売)</td> <td></td> <td>8,400円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>累 計</td> <td>94,518円</td> </tr> </table>	例会出席者数	15名	在籍会員数	21名	出席会員数	14名	出席率	66.6%	メイクアップ(内数)	3名	メネット	1名	コメント0名、ゲスト・ビジター0名		B F ポイント	6月	4,000円		累 計	44,826円	にこにこBOX	6月	2,000円		累 計	51,800円	ファンド(物品販売)		8,400円		累 計	94,518円
例会出席者数	15名																																
在籍会員数	21名																																
出席会員数	14名																																
出席率	66.6%																																
メイクアップ(内数)	3名																																
メネット	1名																																
コメント0名、ゲスト・ビジター0名																																	
B F ポイント	6月	4,000円																															
	累 計	44,826円																															
にこにこBOX	6月	2,000円																															
	累 計	51,800円																															
ファンド(物品販売)		8,400円																															
	累 計	94,518円																															

## 新会長抱負

限らない挑戦で新たな気風を呼び込もう！

若林成幸

宝塚ワイズの皆様、11年ぶり2回目の会長を務めることになりました。振り返ると、会社を退職後、市民活動への参加を考え、誘われて'03年1月にワイズに入会、8月に行われたタイ・ワークキャンプ20周年記念プログラムでチェンマイ交流旅行に同行したことから多くのワイズと出会い、YMCAへの恩返しのような思いもあっていろんな活動に参加させていただくようになりました。'05年7月、初めて会長に選ばれ、自分らしさを発揮できる合唱を通して地域の教会と市民が連携した場を作るべく、主題を「地域に響くワイズハーモニー、Work and sing in harmony with local citizens」として「市民クリスマス」を立ち上げました。あれから11年、地域の教会・音楽ボランティアの理解と協力を得て、大人や子どもが共に祝うクリスマス・プログラムが育ちました。これからも初心を忘れることなく、ワイズが地域社会と教会とYMCAを繋ぐ架け橋になりたいと思います。

去る5～6月、後期高齢者入りを節目に1ヶ月にわたる海外旅行を楽しませていただきました。ドイツ・フランクフルトに駐在の長男家族を訪問し、そこを拠点にじじ・ばばだけの2人旅、時には3世代一緒に各地の名所旧跡を訪ねて歩きました。楽しい観光ばかりでなく、難民・移民問題の現実を見聞きし、戦争の負の遺産を教材として大切に扱っている現場を見て色々と考えさせられました。

また、オルガン演奏会・ミサ曲による礼拝・オペラ版メサイアを鑑賞する機会が与えられ、何にも代え難い経験となりました。

残された人生を過ごす上でこれらの経験を深めて行くことができれば嬉しい限りです。

さて、外の世界から刺激を受け、今年の会長活動方針・計画を次のように決めさせていただきました。

## 活動方針

1. 急速な高齢化の進展、政治や経済の閉塞感、若者の安定志向が問題視される風潮のなかで、我々も「身近な願いごと」に終始している感がなきにしもあらず。堺屋太一氏がいう現代の3Y(欲ない・夢ない・やる気ない)に抗って、今一度、やせ我慢を示してみたい。我がクラブの花組の活躍には目を見張るモノがあるが、メンズの動きは今ひとつ。そこでクラブの人的ノウハウを総動員して、「旬の青年チャレンジャー発掘作戦」を撃ち、例会ゲストに迎えたい。
2. 神戸YMCAの新館完成を祝い、Yサポート活動を積極的に行うと共に、国際交流・国内各クラブとの協調をこれまでと同様に進める。
3. 我がクラブが積み上げてきた地域貢献活動は、若干ばて気味な面もあるが気力と体力でこれらを克服し、地域での存在感を増していきたい。

4.

## 活動計画

1. 旬のチャレンジャーを招き、50人例会を年4回開催し、クリスマス例会等は友好クラブとの合同例会を計画する。
2. 西日本区理事・主任、六甲部各主査の方針を尊重しつつ、独自の味付けを添えた活動を展開する。
3. 岩国クラブ・鹿児島クラブとの交流を促進し、2017年西日本区大会(熊本)においてトライアングルDBC締結を目指す。
4. ファンド活動を充実すると共に、ジャガイモ・バザー・市民クリスマスの諸活動は、これまでとは少し違った味付けを行って継続する。

宝塚クラブの例会は、これまでのように楽しく活発に運営されることは何よりも大事です。プログラムも参加者の年齢層を考慮して計画しなければなりません。時には青年層が関心を持って受け入れてくれるようなプログラムを工夫する必要があると思います。それに相応しい講師を招くのはそう簡単なことではありませんが、「求めよ、さらば与えられん」の意気込みで会員や近隣・友好クラブ等の人脈・

情報網を活用したいと思います。ですから、クラブ単独でなくとも他クラブとの共催で例会を行うことも考えたいと思います。会長主題「限りない挑戦で新たな気風を呼び込もう！」は、そのような気持ちを表現しています。はっきり言って「やせ我慢！」。皆様のご協力を、よろしくお願い致します。

## 6月第1例会報告

6月第一例会は8日(水)午後6時30分より宝塚ホテルゴールドの間で鯖尻会長の点鐘により始められた。出席者はメン・メネット12名、少し淋しい会となった。例年6月は1年間の活動報告となっている。初めに各事業委員会からの「活動計画」に沿って1年間の活動が報告された。概して、どの委員会も着実に成果を挙げて天々に充実した活動が展開され満足すべき結果であったと評価される。ただ会員数については1名入会、3名退会で結果的には2名の減員と成った事は残念であった。



最後に鯖尻会長から1年間の活動の総括と会員各位の協力に対し感謝の気持ちが述べられた。今年度の会長主題「楽しい例会で素敵な交流の輪を広げましょう！」は確実に達成されたと言えるでしょう。鯖尻会長、本当にご苦労さまでした。

YMCA 報告、誕生日のお祝いの後、鯖尻会長の最後の閉会点鐘をもって会を閉じた。

吉田 明

## 6月第2例会報告

6月15日(水)18時30分から宝塚市西公民館会議室において6月第2例会を開催した。出席者は、鯖尻会長、石田、多胡、長尾、吉田、堀江、武田、谷川主事、若林各メン。議事要旨は次の通り。

### 1. 7月題1例会の運営

キックオフ例会とし役員交代式を行い、準備中の総会資料に基づき活動方針・活動計画・予算等の承認を行う。進行次第で若林メンのドイツ旅行談を聞く。

### 2. 7月ブリテン編集

長尾メンが準備の編集方針に従い役割分担を確認。六甲部評議会や西日本区大会があるので、編集日程に合わせて報告記事を作成する必要がある。

### 3. 西日本区大会・フェロシップアワーについて

西日本区大会には鯖尻会長、石田、加藤、武田、多胡、堀江、長尾、若林各メン及び福田素子メネットの9名が参加。フェロシップアワーは、鹿児島クラブ・岩国クラブと合同で行う。宝塚からの参加者は鯖尻会長・石田・長尾・多胡・若林の5名。久しぶりの再会を楽しみに。

### 4. チャリティバザーの反省

バザー委員長の加藤メンは所用のため欠席されたが、文書で提出の実施報告書をもとに反省会を行った。

売上・収益は過去最大級という結果を残し、大成功であった。バザー当日にお楽しみ券を購入し、抽選会に参加して空くじになってしまった方への対応が反省点としてあげられ、今後、抽選会参加者用の賞品を準備して不満が出ないように改善することとなった。

### 5. 東日本区に新クラブ誕生

DBCである東京まちだクラブと東京コスモスクラブがスポンサーになって発足する(仮)東京多摩みなみワイズメンズクラブのチャーターナ

イトが7月17日(日)に行わる。鯖尻会長と石田メンが出席することになった。クラブ内規により祝い金を持参して貰う。

#### 6. 年度末の決算処理及び次期予算

年度末を控え、吉田メンより会計の現状と決算処理事項について説明があり若干の意見交換を行った。続いて、次期予算案の説明があり、一部に修正が加えられた。これらを整理し、6月30日に会計監査を実施した上で、7月第1例会の定期総会において審議・承認する。

若林 成幸

## 第 19 回西日本区大

### 前夜祭

梅雨の真只中、朝から降り続いた雨はお昼からは豪雨。出かけるのも躊躇したくなるようなお天気だったが、4時ごろからは小雨になり、ホッとして会場へと足を早めた。

前夜祭は午後6:00からホテルニューオオタニで開催され、宝塚クラブからは石田ワイズと多胡の二人、そしてシンガポールからはアジア会長のエドワード・オング氏も参加。約80人が集まった。

熊本からの岩本悟次期理事は「飛行機が大揺れに揺れ、空の上でも地震の恐怖が相まって襲ってきました」と。

前夜祭は明日の大会に備えてのウォーミングアップ。遠藤通寛理事を中心に賑やかにブッフェ方式の食事がはじまり、お腹も一段落落ち着いてから、フルート、ギター、などの演奏が始まり、一同歓談をしながらも音楽に耳を傾け、共に歌声を響かせ、和やかなひと時が続いた。そして東日本、熊本の大地震の被者の方々に寄り添い、復興をねがっての震災復興支援ソング「花は咲く」が奏でられ全員の合唱の中、

壇上ではゆみねえの華麗なフラがみんなの目を大いに楽しませ、全員すっかりそのムードの中に酔いしれたサプライズパフォーマンス。遠藤理事の緊張もすっかりほぐれ、明日の大会の大舞台への備えもできたのでは。全員が「では、明日」と帰って行ったワイズならではの楽しい前夜祭のひとつときでした。

多胡 葉子

## 大 会

2016年6月25日(土)～26日(日)、13時から大阪ビジネスパークにあるIMPホールで遠藤通寛理事、役員が集大成である第19回西日本区大会が開催されました。

それに先立ち24日(金)の夜はホテルニューオオタニ大阪で前夜祭があり、明日からの緊張を忘れるような和やかで気楽なひと時を楽しみました

翌日は9時から役員会、準備役員会、代議員総会、メネットアワーなどが開かれ、その後13時から、9部、84クラブのバナーセレモニーによるオープニングとなりました。

特別企画として「東日本大震災を改めて考える」

のテーマのもと、石巻広域クラブ、清水弘一ワイズと熊本ジェーンズクラブ、立野泰博ワイズから被災地の現状やあまり知られていない事実など、その場に居る人しか体験できない貴重なお話を聞くことができ、大きな感動をおぼえました。

19時からニューオオタニ大阪・大宴会場全スパンを使って750名余の懇親会。あちこちで再会を喜び合う楽しいお喋りが行き交う中、お開きは「阿波おどり」です。広い会場は「えらいやっちゃ」で溢れ返り8月が既にやって来ました。徳島出身の遠藤理事夫妻はさすが誰よりも何かが違う！



その後のフェローシップアワーは席を18階に移し、鹿児島、岩国、そして元岩国、現米子の各クラブのワイズと親睦を深めました。来年は鹿児島行きが実現しそうです。

2日目の最大イベント、最大サプライズは、鯖尻佳子会長への理事特別賞受賞です。

新人会長としてワイズライフを楽しみ、素晴らしい活動を残したとして今までなかった賞をゲットで



す。遠藤理事が記念盾を渡される時「いつもお手紙ありがとうございます」とのコメントがありました。この一言が鯖尻会長の細やかで誠実なこの1年を表しています。宝塚クラブの評判がグッと上がった年でした。しっかりと見ていて評価して下さった選考委員のみなさまに大きな感謝を捧げます。

石田由美子

### フェローシップアワー

西日本区大会懇親会后、フォーシーズンで岩国クラブ、鹿児島クラブ、宝塚クラブのDBC交流会を持ちました。毎月ブリテンの交換やメールもして

いましたが、やっぱり顔を見て話をするのは格別です。1時間という時はあまりにも短くて積もる話も



いっぱい話切れませんでした。どこかでゆっくり会いたいなと思ったのはみんな同じ気持ちです。DBC締結に向けてこれからも交流を深めていきたいと思っています。

鯖尻 佳子

### 六甲部第3回評議会

6月18日(土)16時~18時迄行われた。議題は1件、次次期部長の選出方法と決定であった。評議会の可決で無事に次次期部長が決まった。今期進藤啓介部長の最後の仕事であった。



長尾 亘

### 舞鶴YMCA 国際福祉専門学校での講義

2016年6月10日(金)、13:15~14:45、国際観光ビジネス学科に外部講師として話す機会を得ました。きっかけは、海外旅行業界OB会の仲間であり、

舞鶴観光協会、まいづる広域観光公社事業本部長の 釧菱英明氏が 昨年の開校以来講師として教鞭をとられていて、「イベントプ



ラニング」の授業のお手伝いとして声がかかりました。

今回はハワイをテーマのイベントを企画するために、ハワイやフラの歴史、文化に触れ、より深い知識や感性を持って貰う、つまり「フラを通して学ぶアロハスピリット」の90分でした。

学生は1年生、2年生合せて6名。

雰囲気作りに役立つように、ムウムウ、レイなどハワイアンスタイルに着替えて臨みました。ハワイは王朝であった事、それぞれの島にシンボルである花や植物や色がある事、第7代の王様は明治天皇に謁見し官約？ハワイ移民のきっかけを作った事など、知っているようで知らなかった事や全く初めて耳にする事などたくさんあったようです。ハワイの人達がずっと大切にしている基本の精神、アロハスピリット(誠実、協調、明朗、謙虚、忍耐)がフラそのものである、と話しました。

みなさんは大変熱心に聞いていて大きなパワーを貰いました。講義の終わりに全員で手をつないで隣同士温かさを感じながら「アロハ！」の挨拶をしました。

教室を出て行く一人の男子学生が、「これ、使ってください」と差し出したのは紙のお手ふきです。

フラは大地のパワーを感じるために裸足で踊ります、と説明したので汚れた足裏を気にしてくれたのでしょう。何という優しさ、気遣い！アロハの実践です。

おまけに、イケメン・・・ 石田由美子

### チャリティラン 委員会の開催

第19回となる神戸 YMCA インターナショナル・チャリティラン2016の実行委員会が6月17日(金) 19:00～神戸 YMCA カレッジで開催された。今年も実行委員長は神戸クラブの美崎晋氏のもと実行委員2人、各ワイズから4人、神戸Yの職員7

人が集まり第一回実行委員会が開催された。昨年の評価を元に今年度も昨年にもましての盛況となるよう申し合わせ準備にかかることになった。

今年度のキャッチコピーは「**あなたが走るとハッピーになる子どもたちが増えます**」です。

これを合言葉に YMCA・ワイズ六甲部一丸となって11月3日(金)に開催されるチャリティランを準備します。

神戸 Y のチャリティランの特徴としては市内の小学校に呼びかけ今まで100校以上の小学校からの参加があり、地域の子供たちとともに走ることを通じて交流ができる大切なプログラムになっています。今年度もできるだけ支出を抑えた方法で多くの収益をあげて本来の目的の障がい児・者のプログラム支援ができることを考えていくことを申し合わせました。

宝塚ワイズからも昨年同様、出店そしてグループランへの参加、個人献金をいたしましょう！皆様のご協力よろしくお願ひします。

Yサ委員 多胡 葉子

### 鯖尻直前会長報告

この一年に渡る会長職は去年3月の会長研修会の時から始まったように思います。一つ一つの事柄が初めて聞くことでメモを取りながら緊張して聞いていました。準備期間が過ぎ、さあ7月からのスタート。どのようにしたら良いのかもわからずのスタートでした。そんな私を宝塚クラブの皆様がいつも遠くからまた近くから見守って支えて下さっていたのをいつも感じていました。私が心がけたのは例会に来て下さった方には出来れば写真を添えてお礼状を書くこと、そして出会った方にもお手紙を書くことでした。感謝の気持ちをお伝えしたかったからにはほかなりません。また六甲部だけではなく他の部会で出会ったワイズメンの方々とも親しくお話し

せて頂いたことで交流の楽しさを味わうことが出来ました。皆さんいつも温かくこの新人会長を励まして下さいました。まだワイズ歴の浅い私にこの会長職という機会を与えて下さった宝塚クラブの皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。この一年でワイズメンズクラブのことが少しですがわかったように思います。この素晴らしい経験をもとにこれからもワイズメンとして楽しんでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。

## 【今月のみ言葉】

主の祈りを締めくくる最後の祈願は、誘惑に陥らず、悪の力(「悪い者」)から救われるように願い求める祈りですが、この祈りも、前回の罪の赦しを求める祈りと同様、難解な内容を含んでいます。まず、ここで「誘惑」と訳されている言葉(1880年訳「主の祈り」では「試み」)は何を意味しているのでしょうか。これは「試練」のことでしょうか。しかし、聖書において「試練」は、神の計画の中で起こされ、私たちの信仰を成長させるものとして肯定的に捉えられていることから(ヤコブ 1:12)、やはりここは、悪の力によって引き起こされる「誘惑」の意味で理解すべきでしょう。

それでは、私たちを誘惑する悪の力とはどのようなものなのでしょうか。創世記3章の墮罪物語において、エバを誘惑したのは表面的には蛇でしたが、実際にエバを誘惑したのは、彼女自身の心の中に潜んでいた「神のようになりたい」という思いではなかったのでしょうか。つまり、私たちを誘惑し、罪へと導く悪の力は、私たち自身の中から起こって来るものなのです。すなわち、私たち自身の弱さが私たちを罪へと誘惑しており、その誘惑を自分の力で断ち切ることができない私たちには、これをなす唯一の存在である天の神により頼み、願い求めていくことがどうしても必要になってくるのです。このように、無力な私たちを顧みてくださる神の恵みを覚え、悪の力に誘惑されないよう願い求めつつ、日々歩んでいければと思います。

嶺重 淑

## YMCA だより



熊本地震の支援ですが、今なお阿蘇など山麓部では高齢者住宅などの片付けの必要や益城町は今なお避難所の運営など、支援の長期的なかわりが必要な状況となっています。なお、神戸YMCAでは六甲部の各ワイズメンズクラブよりボランティア派遣としていただいた支援金をもとに6月中旬に専門学校学生が3泊4日でワークに、また7月の3連休にもワークキャンプを企画中です。また熊本YMCAの地域を支える募金、熊本YMCAを支える募金活動も1年間(2017年3月)に延長して行うこととなりました。神戸YMCAでは熊本地震緊急支援募金をホームページでも募集しています。あわせてご覧ください。

<http://kifu-kobeymca.org/>

### 1. はんしん自立の家サマーキャンプ

例年、はんしん自立の家より応援遠征をいただいて、入居されている方とキャンプを楽しむ「サマーキャンプ」ですが、今年度は8月21日(日)の午後よりはんしん自立の家で開催します。一緒にカレーを食べたり、スイカ割をしたり、キャンプファイヤーを楽しんだり、まさにキャンプを施設で行います。よければご一緒に楽しみましょう。参加を希望される方は谷川まで。

### 2. YMCAブランディング

6月にYMCA東山荘で行われた日本YMCA同盟協議会において「YMCAブランディング」についての発表が行われました。これは日本YMCA同盟中期計画(2014年～2016年)に基づいて、日本全国のYMCAが社会から見て一つのYMCAとして、そのブランドイメージを持ってもらえるよう話し合いを行い準備をしているものです。YMCAを称して「眠れる巨人」と例えられていましたが、世界最大のNPO、NGO団体でありながら

地域コミュニティの展開において様々なロゴやメッセージでYMCAを伝える中で、社会にみられるイメージがバラバラになっている事実が言われてきました。YMCA内でも「みなのがひとつとなるように」歩む必要がありますが、そのイメージをきちんと構築しようと「ブランディング」を進めてきました。すでにアメリカのYMCAは近年一つのロゴ、同じアピールをしていく中で、一つのものとして強みがだせるよう「ブランディング」進めてきた実績があります。日本のYMCAも同様に、やっとYMCAに連なる方々が持っているイメージを一つのものとして歩もうと始めたことです。具体的なロゴやキャッチフレーズなどの統一は来年度春の予定です。また進捗については皆さんにお伝えさせていただきます。

**年会費納入のお願い**

**2016年～17年度 前期分 (16年7月～12月)**

**金額 20,000円**

**振込の場合は下記へ**

**三菱東京UFJ銀行**

**宝塚中山支店**

**普通預金 NO4585836**

**口座名 宝塚ワイズメンズクラブ**